

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人山本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾・家政 専門課程	ファッション産業学科	夜・通信	2765時間	240時間	
	ファッション学科	夜・通信	1925時間	160時間	
	ファッション流通学科	夜・通信	1820時間	160時間	
	スペシャリスト学科	夜・通信	840時間	80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/ にて公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人山本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

刊行物にて山本学園本部受付にて公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	自営業	2021年5月30日～ 2025年5月29日	学校運営に関する アドバイス
非常勤	住職	2021年5月30日～ 2025年5月29日	学校教育に関する アドバイス
非常勤	学識経験者	2021年5月30日～ 2025年5月29日	学校教育に関する アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人山本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>ファッション業界で求められる技術を持った人材育成のため、「カリキュラム検討委員会」にて審議検討し、決定した科目を実務経験者の教員と教務担当者を中心に毎年授業計画をたて、シラバスを作成し、それに基づき時間割を作成する。成績評価は「成績評価基準」に従い、「出席率」・「課題やレポート提出」・「前期・後期2回の試験」等で行い、公表する。シラバスは5月中旬までに公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/ にて公開
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目の評価・認定は、「成績評価基準」に従い科目ごとに行われる。「出席率」・「課題やレポート提出」・「前期・後期2回の試験」等により、教務担当者及び各教科担当者と判定会議を行い認定の可否を判定する。「課題やレポート提出」では学修成果としての評価を行う。「前期・後期2回の試験」は合計点で評価する。「出席率」は8割以上の出席が必要となる。「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行い基準に達成すれば合格点が取得できる。また不足出席時間数分の補講授業を受講することで科目認定が行われる。成績評価は「A・B・C」の3段階としており、「A・B・C」を合格(科目認定)、「不」を不合格(科目不認定)とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
履修科目の成績(点数)について、全科目の合計点の平均を算出。各科目の点数は100点満点とする。学年・学科毎に下記の通りまとめる。

学科： 学科 学年： 年 学生数： 名

指標範囲	0点 ～49点	50点 ～59点	60点 ～69点	70点 ～79点	80点 ～89点	90点 ～100点
人数						

下位1/4に該当する人数	人
下位1/4の指標点数	点以下

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/>にて公開

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
卒業判定会議を通し、「成績評価基準」に従い本校所定の課程を終了し、各学科による必要科目認定を取得した者に卒業証書を授与する。科目認定は前述の「学修成果の評価基準」に記載のとおりであり、条件を満たしている必要がある。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://chubu.cfc.ac.jp/シラバス/>にて公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人山本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
収支計算書又は損益計算書	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
財産目録	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
事業報告書	刊行物にて山本学園本部受付にて公開
監事による監査報告（書）	刊行物にて山本学園本部受付にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション産業学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3150 単位時間	805 単位時間	単位時間 /単位	2345 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		3150 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		34人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界で必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (%)	10人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	4人	12.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更・学習意欲の低下・コロナ禍によるストレス		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制により学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間	525 単位時間	単位時間 /単位	1575 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2100 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		78人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39人 (100%)	34人 (87.2%)	4人 (10.2%)	1人 (2.6%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87 人	6 人	6.8%
(中途退学の主な理由) 病気療養・進路変更・コロナ禍のストレス		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッション流通学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2100 単位時間	1050 単位時間	単位時間 /単位	1050 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2100 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		25人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界に必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（アドバイザー・スタイリスト等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	スペシャリスト学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1050 単位時間	315 単位時間	単位時間 /単位	735 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1050 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		34人	0人	12人	17人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）カリキュラム検討委員会（企業・卒業生・科目担当者・教務担当者）にて、ファッション業界で必要な技術等の科目・内容を検討し、決定した科目のシラバスを作成。それに基づき教務にて年間の時間割等の授業計画を立てる。
成績評価の基準・方法
（概要）教務・科目担当者会議にて審議、検討、決定された「成績評価基準」に従い、各科目の成績を科目担当者が評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）判定会議（全教員）にて「試験・提出物・レポート・出席率」を総合的に、「成績評価基準」に従い判定をし、卒業・進級・留年を決定認定する。
学修支援等
（概要）「課題やレポート提出」の未提出や「前期・後期2回の試験」の不合格者は該当科目について再提出・再試験を行う。また出席不足者は不足出席時間数分の補講授業を受ける等の支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (%)	27人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） アパレル企業（デザイナー・パタンナー・アドバイザー・企画等）			
（就職指導内容） キャリアセンター長を中心に、学内での企業・卒業生の説明会、インターンシップ等を実施し、担任も交え個人指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定・ファッションビジネス能力検定・文部科学省後援色彩検定・ファッション販売能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による学生とのコミュニケーションをとり、保護者とも共同で指導支援する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ファッション産業学科	200,000 円	630,000 円	200,000 円	施設設備費
ファッション学科	200,000 円	630,000 円	200,000 円	施設設備費
ファッション流通学科	200,000 円	630,000 円	200,000 円	施設設備費
スペシャリスト学科	200,000 円	630,000 円	200,000 円	施設設備費
修学支援(任意記載事項)				
特待生制度(成績・部活・資格等)にて入学時に授業料や入学金の一部が免除になる。ただし減免・給付対象者は施設設備費の一部が免除になる。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 評価委員会(企業・卒業生・地元住人等4名)を設立し、7月頃委員会を実施。自己評価内容に従い、教育課程や進路・募集等の評価結果を真摯に受け止め、学校運営の改善点を見つけ、学校長中心に全教員にて是正する計画を立てる。出来る事から実施。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株)ヤマダヤ 採用担当部長 八木邦彦	2019年9月1日～ 2021年8月30日	アパレル企業
リンカアソシエイツ(株) 取締役専務 澤田貴彦	2019年9月1日～ 2021年8月30日	卒業生
(有)アイム マネージャー 八木志保	2019年9月1日～ 2021年8月30日	卒業生
元信用金庫支店長 杉原啓次	2019年9月1日～ 2021年8月30日	地元住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chubu.cfc.ac.jp にて公開

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	中部ファッション専門学校
設置者名	学校法人山本学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		8人	8人	16人
内 訳	第Ⅰ区分	5人	5人	
	第Ⅱ区分	2人	3人	
	第Ⅲ区分	1人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				16人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	1人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	1人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。